

JITAN PRESS

Vol.
13

学校法人北海道尚志学園

新しいシンボルマーク・スローガンと 本学の開学60周年について

すでに札幌駅前通地下歩行空間などで掲示されていますが、このたび学校法人北海道尚志学園の新しいシンボルマークとスローガンが決定しました。このシンボルマークとスローガンは北海道尚志学園グループのすべての設置校が共通して使用していくものであり、学園創立90周年を迎えてから100周年へ向けたビジョンを示したもの



でもあるといえます。

また今年は北海道自動車短期大学の開学60周年を迎える年でもあります。国内で自動車が製造開始された4年後の1953年(昭和28年)に我が国初の自動車工学専門の教育機関として開学した本学は、すでに2万7000名を超える卒業生を輩出しています。ハイブリッド車や電気自動車が当たり前となってきた現代、自動車工学は目覚ましい発展を遂げ、それにかかる人材の育成は時代の急務ともなっています。本学はこれからも自動車産業界の要望に応えるべく、優秀な人材の育成に取り組んでまいります。



学長・博士（工学）
能戸 正



ANNIVERSARY
60年の歴史を礎に未来へ加速する

新しいシンボルマークとスローガンの紹介



+Professional

わたしたちの共通・新シンボル

北海道尚志学園、すべての設置校共通の新シンボルマーク「Progress "H"」。わたしたちのホームグラウンドである“Hokkaido”的“H”をベースに、連携と成長のバネ、実学系総合大学としての広がり、学生と地域社会の躍進を表しています。「こんな人になりたい」、「もっと出来る!」といった意欲を引っ張ってくれる旗印です。

わたしたちの宣言、新スローガン

ヒューマニティ、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、マネジメント能力といった基盤能力を基に、専門性を身につけている人材が社会に求められています。単なる「Professional」だけではなく、後付けの「Professional+」でもない...基盤能力を前提とする「+Professional」な人材を育成する! その心意気を宣言するスローガンです。

多数の来場者で大盛況! 第2回JITAN☆FESTA開催

あいにくの雨模様となった平成24年8月5日(日)、第2回JITAN☆FESTAが開催されました。当日は昨年をはるかに上回る350名近い来場者を迎えて、大盛況となりました。公



開講座では、マツダ パワートレイン開発本部長の人見光夫氏を迎えて『SKYACTIVエンジンについて～内燃機関の将来性～』についての特別講演を行っていただきました。またご家族連れを対象とした『チョロQランド』や『JAFの交通安全講習』も大人気で、順番待ちの列ができるほどでした。

さらに『RCカー走行会』や『グランツーリスマ5 タイムトライアル&フリー走行』などにもたくさんの中学生が集まりました。

本学A駐車場では9つのディーラー各社が自慢の最新車両を展示。さらに試乗もできるとあって、開場と同時に試乗申し込みが殺到し、各ディーラー担当者もうれしい悲鳴をあげていました。



有意義な時間を共有 学生研修旅行

平成24年度の学生研修旅行は学生18名が引率教員2名とともに参加し、平成24年10月29日(月)～11月1日(木)までの3泊4日で行われました。行き先は関東方面で、トヨタ自動車東富士研究所、宇宙航空研究開発機構、いすゞ自動車藤沢工場、関西ペイント、日産自動車追浜工場、日立建機日本、MEGA WEBを訪問しました。いずれの見学先でも特別な配慮をいただいたことに感謝し、学生がこの体験を役立ててくれることを願っています。

自動車以外の整備にも興味を持つきっかけになりました。

自動車工業科第一部 1年
大橋 和憲さん

今回の学生研修旅行の中で一番印象に残ったのは、最終日に訪問した日立建機日本株式会社です。こちらには先輩が就職しているということで特別に見学を許可していただいたのですが、建設機械や運搬機械の整備がどういうものかを説明していただきました。今まで“自動車の整備”にしか興味がなかったのですが、「こんな仕事をしてみたい」と強く感じました。これから就職活動が始まますが、この学生研修旅行が自分の将来を決める第一歩になった気がします。



2012全日本学生 フォーミュラEVプレ大会



自動車工業科第一部 1年 学生フォーミュラ研究会 部長 **前田 智哉さん**

平成24年9月3日(月)～7日(金)に行われた第10回全日本学生フォーミュラ大会の中で、来年度から正式種目となる『フォーミュラEV』のプレ大会が行われました。『フォーミュラEV』とは電気自動車のフォーミュラマシンで、本学を含め、全国から7つのチームがエ



ントリーしました。今回は残念ながら走行競技に参加するには至りませんでしたが、来年度はぜひ走行競技まで進み、優勝をめざしたいと思います。

若さを爆発! 熱闘が繰り広げられた体育大会



平成24年10月12日(金)に自動車工業科第一部・専攻科の体育大会を開催しました。日頃運動不足気味の学生も多いなか、「この日ばかりは」と全員がクラス対抗で、バスケットボール、フットサル、バーボール、綱引きの4つの競技に挑みました。毎日一緒に学んでいる仲間とあって、チームワークは抜群。1点を追う展開になる競技も多く、応援にも熱が入ったようです。また第二部の体育大会は6月8日(金)に実施。フットサルの代わりにリレーが行われ、熱い戦いが繰り広げられました。

総合結果	
1位	1年C3組
2位	1年B1組
3位	1年B2組
4位	自専攻
5位	1年B3組

平成24年度 就職内定状況

例年にも増して好調な滑り出しで、多くの学生が第一希望の会社に内定しています。

新聞報道などでもご存知かと思いますが、今年は高卒・大卒共に昨年よりも若干好調な内定状況となっています。これは各企業の業績が多少なりとも上向いており、また特に技術職において世代交代が必要な時期に来ているためと思われますが、自動車業界も同様で、本学にも例年以上のたくさんの企業からの求人や問い合わせがありました。なかでも本学に企業担当者が直接いらして業界の現状を説明してくださる『講演会』や『出前授業』には昨年の倍もの企業からの申し込みがありました。

学生の動向としては相変わらず地元志向が強い傾向にあります。本学には関東・関西をはじめとした道外企業からの求人も数多く寄せられているのですが、その要望に応えきれていないのが実情です。「近くに就職してほしい」という保護者の方のご希望もわかりますが、もし学生本人に強い意志があるならば、ぜひ道外に飛び出して自分の力を試してみるチャンスを与えてあげてほしいと願うところです。



就職支援部長
長谷 渡



合同企業説明会開催

平成25年1月29日(火)ホテル札幌ガーデンパレスにおいて本学独自の『合同企業説明会』が開催されました。道内企業はもとより、宮城、埼玉、東京、兵庫と全国各地から昨年を10社も上回る88社の参加があり、どの学生も真剣な表情で面談に挑んでいました。

参加企業一覧 (本学登録企業コード順) (株)日本除雪機製作所、古河機械金属(株)、北海道中央バス(株)、サンコー・エア・セルテック(株)、千歳空港モーターサービス(株)、(株)オカモト、日本ニューホーランド(株)、トヨタL & F札幌(株)、(株)北日本オート用品、石上車輛(株)、(株)デンソーセールス北海道支社、(株)クボタ建機ジャパン、北海道川重建機(株)、安全自動車(株)、エム・エス・ケー農業機械(株)、(株)イサカ札幌支店、トヨタL & F旭川(株)、ホクトヤンマー(株)、コベルコクレーン(株)、東日本コベルコ建機(株)、(株)オートバックス北海道、札幌トヨタ自動車(株)、札幌トヨベット(株)、ネッツトヨタ札幌(株)、トヨタカローラ札幌(株)、ネッツトヨタ道都(株)、北海道日産自動車(株)、札幌日産自動車(株)、日産プリンス札幌販売(株)、UDトラックス北海道(株)、北海道三菱自動車販売(株)、北海道マツダ販売(株)、(株)ホンダカーズ札幌中央、(株)ホンダカーズ北海道、(株)ホンダカーズ南札幌、北海道いすゞ自動車(株)、北海道スバル(株)、(株)スズキ自販北海道、北海道日野自動車(株)、(株)オートランド札幌、国際興業グループ(株)外車部、北海自動車工業(株)、(株)モトレーン札幌、(株)ヤナセ札幌営業本部、(株)ホンダカーズ千歳、トヨタカローラ函館(株)、旭川トヨタ自動車(株)、旭川トヨペット(株)、ネッツトヨタ旭川(株)、トヨタカローラ旭川(株)、トヨタカローラ道北(株)、旭川日産自動車(株)、帯広トヨペット(株)、ネッツトヨタ帯広(株)、十勝三菱自動車販売(株)、東北海道いすゞ自動車(株)、釧路トヨタ自動車(株)、トヨタカローラ釧路(株)、釧路三菱自動車販売(株)、北見トヨペット(株)、トヨタカローラ北見(株)、北見日産自動車(株)、(株)スズキ自販関東、いすゞ自動車首都圏(株)、ダイハツ北海道販売(株)、東北海道日野自動車(株)、(株)北海道ブリ、SGモータース(株)、(株)イデアル、(株)サッポロミナミスキズキ、東京海上日動調査サービス(株)、(株)損害保険ジャパン、日本興亜損害保険(株)、(株)ジック、あいおいニッセイ同和損害調査(株)、(株)カナモト、(株)共成レンタル、(株)アクティオ、(株)タツノ、一般社団法人日本自動車機械工具協会札幌支所、エスケーリース(株)、(株)ワカム北海道、(株)カーレド、(株)林自工、(株)滝川自工、(株)ホクレン油機サービス、(株)クレタ、自衛隊（札幌地方協力本部東部地区隊）

平成24年度後学期 成績優秀奨学生決定!



人物および学業成績ともに優れ、向学心が旺盛な学生に奨学金を給付する本学独自の成績優秀奨学生が決定、奨学生一人ひとりに学長より証書が手渡されました。奨学生となった学生はしっかりと自覚を持ち、さらに学業に励む意思を確認していました。

平成24年度後学期成績優秀奨学生		
自動車工業科第一部	2年	福島宏太
自動車工業科第一部	2年	奥山敏勝
自動車工業科第一部	2年	竹下直生
自動車工業科第一部	2年	菅 雄二郎
自動車工業科第一部	2年	溝渕達也
自動車工業科第二部	2年	長澤孟士
自動車工学専攻	2年	今井翔一
車体工学専攻	1年	梶川圭一

セーフティラリー北海道2012結果報告

平成24年7月1日(日)～10月31日(水)の間、学生、教職員の交通安全意識を高めるために開催されていた『セーフティラリー北海道2012』の結果が発表されました。今年度は学生・教職員合わせて213名、61チームが参加しましたが、達成人数は126名、達成チーム数37チーム、達成率60.7%という結果になりました。

達成率は昨年度の66.7%に及ばなかったものの過去4年間の中では2番目に高い数値であり、参加者の交通安全に対する意識の高さがうかがえました。セーフティラリーの期間は終了しましたが、今後も交通安全の意識を忘れることなく、学生・教職員とともに無事故・無違反に努めていきたいと考えています。

保護者懇談会を開催

平成24年9月23日(日)に札幌(本学)で、9月30日(日)に旭川と釧路で保護者懇談会を開催しました。各会場とも昨年度を上回る保護者の方々にご参加いただき、学生生活について意見を交わすなど有意義な時間を過ごすことができました。保護者の皆様、ご参加ありがとうございました。今後も本学の教育にご協力・ご理解をいただきますようお願い申しあげます。



日頃の研究成果を発表！「学生研究発表会」

平成25年1月25日(金)、本学視聴覚教室において「平成24年度学生研究発表会」が行われました。本年度は研究発表が15件と多く、セッションを2つに分けての発表となりました。大勢の前での発表とあって発表者はみんな緊張の面持ちでしたが、前日の入念なリハーサルの



かいもあって、学長からは「みんな堂々と発表していて、とても立派だった」との総評がありました。

研究のテーマは「電動RCカーの加速性能評価」から「スーパー電気自動車の製作」など多岐に渡りましたが、特に『緊急時におけるマイカーの発電システムの有効性』については4件がそれぞれ“ガソリン車”、“ディーゼル車”、“ハイブリッド車”、“電気自動車”を題材に取り上げ、マイカーを家庭用電源として活用する方法を模索しました。ここ数年、地震や風雪害など多くの自然災害が起きていることを考えると、これらの研究は近い将来きっと役に立つものと思われます。

研究と発表という貴重な経験ができました。

路面状況が交通事故に及ぼす影響は著しく、特に北海道のような寒冷地ではブラックアイスバーンによる追突事故の増加は深刻です。私はこの路面状況をいち早く把握するために“摩擦係数 μ の計測”について研究しました。今回発表の場を与えていただき感謝し、社会に出てからもこの経験を生かしていきたいと思います。



自動車工業科第一部2年
高山剛志さん

CLUB & CIRCLE ● クラブ・サークル紹介

冬道運転のテクニックを学び、ドライビングの楽しさを満喫してきました。

自動車工業科第一部2年 モータースポーツ研究部 部長 梶野晃一さん



平成25年1月26日(土)にモータースポーツ研究部の部員5名とその他の学生4名の計9名で、新千歳モーターランドで行われた自動車技術会主催の『第22回雪氷路セーフティードライビングコンテスト』に参加してきました。これは雪上や凍結路面での安全な運転テクニックを競う大会で、パイロンを立てたコースで走行タイムを競うものです。FF部門と4WD部門があり、前日は雨が降り、路面はざくざくの雪という悪条件でしたが、FF部門で我が部員が2位に入る健闘を見せました。

モータースポーツ研究部では、年に数回自慢の愛車でコースを走る走行会を開催しています。今まで主に夏期に行っていたのですが、今年は2月に苫小牧で氷上走行会を行おうという新しい計画もあります。6月の『オールジャパンジムカーナ』、9月の『ラリー北海道』のオフィシャルボランティア参加もうですが、普段走ることのできないサーキットを走れるなど、貴重な体験ができるのがモータースポーツ研究部の魅力です。



モノづくりの楽しさを！ 公開講座を開催



平成24年11月3日(土)の文化の日に文部科学省第54回教育・文化週間関連行事として公開講座を開催しました。午前の部では「親子でソーラーカーを作ろう」をテーマに、「ソラえもん号」の組み立て教室を開催。午後からは「本学におけるソーラーカーの開発について」のテーマで山崎教授の講演会が行われました。

北海道自動車短期大学 広報誌

JITAN PRESS

[ジタンプレス]

平成25年3月1日発行(第13号)

発行／北海道自動車短期大学

編集／北海道自動車短期大学 入試広報部